

女性と美術 — 創作と教育 —

2019年

10月7日 Mon — 11月2日 Sat



「鞍瀬の頭」30P 2016年



「武蔵野」50F 2016年

有元容子・織田涼子作品展

有元容子氏は、現代日本を代表する作家の一人として活躍するいっぽう、平成18年4月から25年3月まで本学の教授として、絵画及び陶芸の分野で多くの学生の指導に当たり特に美術科教員の育成に力を注がれました。織田涼子氏は新進気鋭の作家として創画会を中心に活躍するいっぽう、有元容子氏の後を受けて絵画実習や教員免許取得のための科目に力を注がれています。青緑系の色彩による「山岳」の表現を究められてきた有元氏の作品、花卉などをモチーフとして「赤」を追求されてきた織田氏の作品、対照的なお二人の傑作の数々をどうぞご覧ください。

休館 日曜日、祝日、10月22日 ただし10月13日、14日、27日は開館 開館時間 10:00 ~ 17:00 会場 実践女子大学 香雪記念資料館
主催 実践女子大学公開講座委員会 協力 実践女子大学 美学美術史学科 香雪記念資料館 後援 渋谷区教育委員会



実践女子大学 実践女子大学短期大学部

講演と対談

2019年

10月12日 Sat

14:00 ~ 16:00 (受付開始 13:30)

【講演】有元 容子
「有元容子 制作の周辺」

【対談】有元容子氏×織田涼子氏

【会場】実践女子大学渋谷校舎
120周年記念館804数室

▶▶ 講師プロフィール

有元容子 (ありもと ようこ)

実践女子大学美学美術史学科元教授。日本画家。

東京芸術大学美術学部絵画科日本画卒。

唐津にて陶芸を学び陶芸作品も制作。絵画作品は主に山や鳥々をモチーフとして制作。創画会展、秀作美術展、両洋の眼展に出品の他松山三越・日本橋三越などで個展。著作に「花降る日」「絵を描く楽しさ」(有元利夫・山崎省三との共著)がある。

織田涼子 (おだ りょうこ)

実践女子大学美学美術史学科准教授。

美術科教員免許取得に関連する実習科目を担当。

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程日本画領域修了。博士号(美術)取得。研究題目「風景画の見方-空間に見る感情の色」庭木など生活空間にある植物を題材に制作、創画会、グループ展にて発表。創画会会友。

アクセス

渋谷駅 東口(JR/東京メトロ/東急/京王) 徒歩約10分

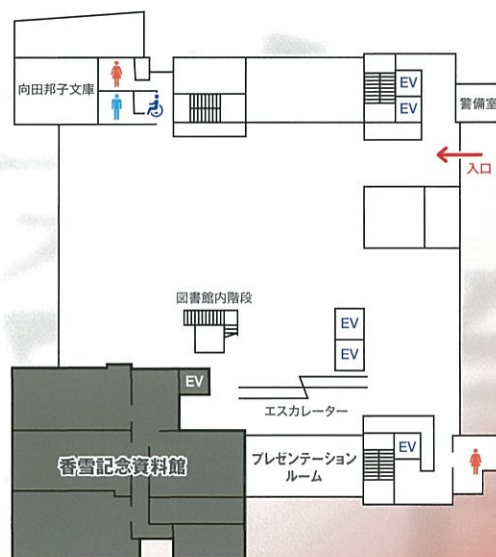
表参道駅(東京メトロ) B1出口より徒歩約12分



*当館は、実践女子大学渋谷キャンパスの創立120周年記念館1階にあります。ご来館の際には、駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください。また、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室に、入館の旨をお伝えください。

館内案内

ご来館の際には、六本木通り沿いにある正面入口右手の警備室に、入館の旨をお伝えください。



お問い合わせ

実践女子大学生涯学習センター

☎ 042-589-1212

✉ kokai-koza@jissen.ac.jp

🌐 <http://www.jissen.ac.jp/kokaikoza>